



8月の講話会は、古神道界の大御所・菅田正昭氏の登場です。正徳4年(1714)、摂津国の神職が訴訟を起こします。その前年、白川伯の中将・神祇伯雅冬王(1679~1734)がこの神社の神主や祝部を更迭しています。中将側の役人と対決させると、収賄で他の者をその役職に就けたと判明。中将は伝奏を通じて責任は自分にあると伝え、更迭された神職を復職させます。中将側の役人は追放、中将も禁錮に処されます。しかし、このため宮中の内侍所の神事が滞ってしまいます。そこで当時幕政を主導していた新井白石は中将の禁錮を解きます…。一この続きは、ぜひ講話会にお越しを！(奈良 泰秀)



「新井白石も認めた 伯家の特別の立場」

講師：菅田 正昭氏

(作家、シマ文化活動家、古神道研究家)



菅田 正昭(すがた まさあき) 学習院大学法学部政治学科卒業。専門紙記者などを経て、昭和49年1月まで青ヶ島村役場職員として在島。その後、財団法人日本離島センター、機関誌『しま』編集委員・企画委員を経て、再び青ヶ島へ渡り、青ヶ島村助役を勤める。現在、日本の霊性の根源を求めての、シマ・アマ・オウの音韻を持つコトバとその概念を、民俗学・宗教学・離島問題・社会福祉のクロスオーバー的視座から体験的に追求中。著書：『出口王仁三郎の大予言』、『面白いほどよくわかる神道のすべて』、『青ヶ島の神々』他多数。『しま』を中心に離島に関する200本を超える論文・エッセーを発表。【ウェブサイト】菅田正昭のシマ論、でいらほん通信(<http://deirahon.com>)

- 日時：平成30年8月18日(土) 2:00p.m~5:00p.m (1:00p.m 開場)
- 会場：高円寺 氷川神社 (〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-44-19 高円寺駅南口2分)
- 入場料：一般：¥2,000円。学生・古神道講座受講生：¥1,500円 (要予約)

“ニッポン・スピリチュアルの世界” 講話会(8月度) 参加申込み (Fax送信用)

*ご参加の場合は下記にご記入の上、ファックスかメール、電話でご連絡ください。(担当:事務局・藤田)

Fax: 送信先 045-491-7461 e-mail: info@nippon-bunmei.jp Tel: 045-481-9361

【* 締切り=30年8月15日(水) * 定員になり次第 締切ります】



ご芳名： _____ (_____ 歳)

ご住所： _____

お電話： _____

ご職業： _____

* 入場料：当日お支払いです。ご予約後のキャンセルはしないでください。

会場地図

